

開催日時	令和8年9月18日(金) 19時00分～20時40分
開催場所	web
出席者	間瀬、木澤、小山、山口、正木、井貫、藤、中谷、有吉、樋笠、水田、玉木、中村、森沢、西原、上野、岩井、小森、松本
欠席者	岩田、山本、熊谷、桑山
記録者	松本
議題1	会長報告
【内容】 会長行動録 (主なもの)	7月27日に公明党、8月27日に自民党へ政策要望を実施。リハビリテーション体制の充実、マルチモビディティ事業の継続、総合事業・介護予防の改善、地域包括支援センターへのリハビリテーション専門職の配置促進等を要望した。 9月7日、公明党と兵庫県関係部署・病院局等との第2回勉強会に会長らが出席。県立病院のリハビリテーション専門職増員とともに、急性期から回復期・生活期まで切れ目のない地域連携を県全体に展開するモデル事業を提案した。 中播磨での検討に加え、尼崎でも協議を進める流れとなり、10月末頃に医師会への説明を予定している。医師会・自治体等が中心となる事業であり、実施や開始時期は未定。関係者と経緯を共有する会議を設け、具体化に向けて協議を続ける。 秋の県議会で、県立病院における計画的なリハビリテーション専門職の確保・育成と経営基盤強化、切れ目のない地域リハビリテーション連携の推進に関する2件の質問が予定されている。増員や365日体制の実現が確定したものではなく、今後の動きを理事会で報告する。
議題2	協議事項1: 第67回近畿理学療法学会・60周年記念式典の理事役割分担について
項目	内容詳細 各理事から事前に内諾を得た、第67回近畿理学療法学会と創立60周年記念式典の担当分担を確認した。今後は各担当で組織構成を決め、人選を進める。担当一覧は理事会資料として共有する。 両事業に共通して創立60周年を掲げた広報を行い、士会の歩みを次世代へ伝える機会とする。若手理事、部長・支部長、部員・支部運営委員等の登用と、女性の参画を意識して人選を進める。 準備予定として、年内の予算作成、3月までの広報戦略の検討、4月からの順次広報開始等が示された。記念講演の講師選定や記念誌についても検討を進める。式典担当者には理事会終了後に詳細を説明する。 協議結果: 担当分担について特段の異議はなく、提示された分担をもとに準備を進める。
議題3	協議事項2: 社会局拡大理事会での意見について
項目	内容詳細 ①広報に関する表現について: 登録理学療法士更新を促すSNSのイラストを例に、性別に関する固定観念や誤解を招く用語・画像への配慮と、男女共同参画推進委員会からの注意喚起の仕組みを求める意見が紹介された。 主な意見: 制作側に差別的な意図はなく、女性のイラストによる発信も行われている。担当者の尽力を尊重しつつ、受け手の見方にも配慮する必要がある。SNSや刊行物全般の留意点・ガイドラインの検討が提案された。 対応方針: 担当理事が男女共同参画推進委員会に持ち帰り、性差への配慮を中心とした広報表現の注意事項等を検討する。必要に応じて意見の背景を確認し、次年度の活動案や財務審議会への提案につなげる。 ②各部議事録のホームページ掲載について: 内部用と公開用の議事録を作成し、掲載する作業の負担を軽減するため、各部議事録の公開の必要性を検討してほしいとの意見が紹介された。議事録の作成・提出自体は必要とされた。 経緯の確認: 令和2年度定時総会で情報開示を求める意見があり、同年10月に議事録作成要領が作成されたことが報告された。総会での回答だけでは各部議事録の公開まで義務づけたか判断できず、関連する理事会記録等も確認する必要がある。 主な意見: 情報公開を縮小するよりも、AI等を活用した作成・公開作業の省力化を進める方が建設的ではないかとの意見があった。内部用と公開用を分ける運用や、公開範囲についても整理が必要とされた。 協議結果: 掲載廃止は決定せず継続検討。過去の総会・理事会の記載内容と時期を時系列で整理し、確認する。関連情報を理事に共有したうえで、対応案を改めて審議事項として提出する。
議題4	協議事項3: 学校保健推進部(仮称)の設立
項目	内容詳細 2022年から西宮支部で進めてきた学校保健事業について、教育委員会との連携や学校への展開を進めるため、2027年度から県士会の部として活動する案が示された。名称は学校保健推進部(仮称)、社会局に位置づけ、担当理事が引き続き担当する案である。 人員は阪神南西宮芦屋支部長を部長候補とし、部員10名程度を想定。部会5回、研修会3回、学校保健事業の実務2回で、年間予算30万～40万円程度(30万円程度を見込む)と試算している。人員・予算とも確定前の案である。

	主な意見:先駆的で意義ある取組として賛同があった。県全域への展開を前提に、人材育成と学校につながる体制整備の両方が必要であり、県・市町村教育委員会への働きかけ方を調べる。モデル地域での実績づくりから全県展開に至る道筋を会員に説明できるよう整理する。 人員・対象範囲:支部長との兼務による負担に配慮し、体制を再確認する。通常の小中学校だけでなく、養護学校等も視野に入れ、関連分野の認定スクールトレーナーへの参画依頼を検討する。 協議結果:当日の審議事項への変更案も出たが、最終的には財務審議会で予算面と方向性を検討し、次回理事会までに人員体制を再確認したうえで、改めて審議事項として提出する方針となった。今回の会議では設立を承認していない。
議題5	報告事項(補足事項)
項目	内容詳細 第37回兵庫県理学療法学会について:事前参加登録の締切まで2週間を切り、当日時点の登録者数は約700名で、概ね順調と報告された。 50周年時の経験を踏まえ、60周年では若手が運営や行事に積極的に参画し、士会の組織率向上にもつながることへの期待が述べられた。
議題6	事務局連絡
項目	内容詳細 京都府理学療法士会から、エスカレーターマナーアップ啓発事業の動画掲出とアンケートへの協力依頼があった。士会員向けのお知らせに掲載する予定であり、協力を依頼した。
次回の予定	日時:10月16日(金)理事会
日時・場所	場所:web
今後の予定	